

ARTOMO

CASUAL

Vol.6

姫路市立美術館 友の会の「今」をかるやかに届ける
『あーとも・カジュアル』第6号／2024年春号
2024年3月1日発行
※企画展等の開催期間や概要など、詳細は美術館HPにて

メッセージ

十分の一の歴史を紡いで ～友の会会長メッセージ～

「チームラボ 無限の連続の中の存在」展も盛況のうちに幕を閉じました。この間、友の会会員も昨年度より80名近く増えて約370名となりました。またおおぜいの来場者の方にショップやカフェもご利用いただき、友の会の運営に追い風となっています。

今年度、友の会ができて40周年を迎えるにあたり、これまでの歩みをまとめ、創立時の理事や学芸員さんらへの「聞き書き」などを載せたホームページの制作をすすめています。なんとか年度末にオープンしたいと思っていますので、ご期待ください。

さて、令和6年度はいよいよ「オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクト」の4年目、最終年を迎えることとなります。招聘アーティスト・隈研吾さんの二つの展覧会と書寫山園教寺でのインスタレーション、姫路市出身の写真家・小川晴暘（せいよう）さんの写真展、3年目となる中谷芙二子さんの「霧の彫刻」、「プリズム」展をはじめとする多様なコレクション展示など、ひきつづき楽しみな一年になりそうです。

令和2年度から友の会会長を拝命して、2期4年となります。40年の歴史のラストを締めくくる4年間でしたが、当初よりコロナ下での運営となったこともあり、試行錯誤の日々でした。ただ、新しい理事の方にも次々と加わっていただき、不動美里館長の下、ようやく持続可能な友の会の礎が築けつつある実感を持てるようになりました。

またこのたび、かねてから会員のみなさまから要望のあった「小学生・中学生会員」を設けるための会則の改正もすすめています。

身近にアートあふれるところ豊かな暮らしづくりに向けて、一歩ずつともに歩んでいけたらと思っています。

(姫路市立美術館 友の会会長 米谷 啓和)



昨夏は特別暑かった！帰宅後の一杯を楽しみに、明後日朝顔の水やり&前庭の草刈りにいそぎました。
ご興味のある方はぜひ、ちょっとした運動代わりに草抜きなど一緒しませんか！？

レポート

子どもたちが、作品になった！ チームラボ 別の生きものに変身しよう!!

「無限の連続の中の存在」関連ワークショップ

◎開催日／2023年8月18日(金)

◎美術館2階・講堂

◎参加者／31名

◎講師（スタッフ）／友の会企画室メンバー

主催／姫路市立美術館友の会 共催／姫路市立美術館

姫路市立美術館の企画展「チームラボ 無限の連続の中の存在」関連ワークショップである「別の生きものに変身しよう!!」にスタッフとして参加しました。はじめに、チームラボ展を鑑賞した子どもたちが思い思いの生き物に変身！最後は、チームラボの世界に没入していました。子どもの創造力は無限です！



どんな生き物に変身してみる？使う材料、約束ごとなどの説明に夢中で聞き入る子どもたち。



白い布とテープのみを使い、友達やスタッフと相談して、かぶったり、身体に巻き付けたりしながら変身！

2023年度から、姫路市立美術館友の会「鑑賞・教育プログラム研究部会」を担当させていただくことになりました。これからも、芸術を身近に感じられる美術館を目指して、子どもたちや親子を対象にしたワークショップを企画していきたいと思えます！美術館、meji、学生スタッフ、友の会、関わってくださったすべてのみなさま、お疲れさまでした！ありがとうございました。(小川陽平/友の会理事)



思い思いの生き物に変身して、チームラボの世界に入った後の子どもたち。自分とは違う生き物になりきった気分で記念撮影！

レポート

明後日朝顔プロジェクト姫路2023 収穫祭

◎開催日／2023年10月29日(日)

◎美術館前庭

主催／姫路市立美術館友の会明後日朝顔クラブ

共催／姫路市立美術館



左) 喜多船長作：2023 サインボード

右) 収穫祭のために明後日朝顔全国大会Tシャツを入れ込んだ衣装

アートプロジェクト「オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクト」のコア・アーティスト日比野克彦氏による、明後日朝顔プロジェクト姫路2023。今年度の収穫祭は、昨年と同様に、姫音祭と同時開催。すばらしい秋晴れのもと、にぎやかに行われました。

明後日朝顔プロジェクトのワークショップで使われる「タネフネ」の喜多直人船長の舵取りのもと、朝顔の種を収穫するという、一見シンプルだけど、大人になってからは縁遠くなっていった活動に、たくさんの人たちが年齢問わず、夢中になって取り組みました。

2024年度の活動に向けて、姫路の明後日朝顔の種の顔となるキングオブタネのエントリーにも、和気あいあいとチャレンジ！様々な方々に収穫してもらった個性あふれる種から新たな発見やつながりが次々に生まれ、これまでとこれからの時間軸が交差する、創造的なひとときとなりました。

(青田 美智江/友の会企画室)



ネームカードに呼んでもらいたい名前を書いて、明後日朝顔ワールドへ、いざ没入！



収穫した種を一粒ずつ丁寧に分けて！連れて帰る種はどの子にしようかな…



高いところは、蔓を傷めないように親子で連携プレー…肩車してもらってラッキー！

*オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクトとは

姫路市立美術館が、令和3年度から6年度までの4年をかけて、アートのプラットフォームとして、海・島・山・森林・田園・姫路全域が擁する地域文化をアートの力で市民ライフの糧として再発見するとともに、新たな姫路の魅力を国内外に発信するアートプロジェクト。



美術館前庭では、霧の彫刻に包まれながら姫音祭も開催されました。中谷芙二子《白い風景—原初の地球》霧の彫刻 #47769、姫路市立美術館前庭 2023年10月29日 ©Fujiko Nakaya 2023 ©Himeji City Museum of Art

秋の瀬戸内をぐるりと巡る 美術鑑賞バス旅行

◎開催日／2023年9月16日(土)

◎参加者／33名

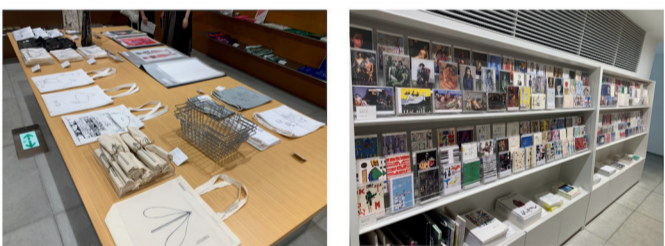
2023年度の友の会美術鑑賞バス旅行では、四国の高松市美術館、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、東山魁夷せとうち美術館3館を訪ねました。山陽自動車道トンネル工事のため、計画していたルートを変更し、明石海峡大橋～鳴門海峡～四国～瀬戸大橋と、瀬戸内をぐるりとめぐり嬉しいバスツアーになりました。参加して下さったみなさんの感想を、ちょっとだけご紹介します。



高松市美術館では、橋学芸員による建物の説明からスタート！

◆美術館について

- ・建物が3ヶ所ともタイプが違って素敵でした。
- ・建物空間と猪熊弦一郎の作品展示がマッチしていた。
- ・猪熊弦一郎現代美術館の存在感、空間構成は圧巻。エントランスの広い基壇と建物の大胆な正面デザイン（ファサード）、3階の喫茶コーナーの前の中庭の処理、そこから地上まで続く大階段の採光など、訪れた人をわくわくさせる演出が至るところで細かくなされている。名の知れた建築家の作品の放つオーラのような輝きは、それだけで人を引きつける、そんなことを感じさせる美術館だった。
- ・東山魁夷せとうち美術館の青の世界、こんな絵が描けたらいいな。



丸亀市猪熊弦一郎現代美術館ミュージアムショップ。買い物もお楽しみのひとつ。

◆ランチの感想（四国といえば、骨付鶏「一鶴」）

- ・以前から気になっていた名物を味わえて良かった。
- ・有名店なのに、並ばずに食事ができて嬉しかった。
- ・ご当地の味を堪能。
- ・久しぶりの骨付き鶏肉で、少しピリッとしましたが、最高でした。ほんとビールが飲みたい！
- ・食べるのは大変だったけど、味は最高！こんなに食べられるかなと言いつつ、ペロッと食べられた...ということは美味しかったのでしょう。



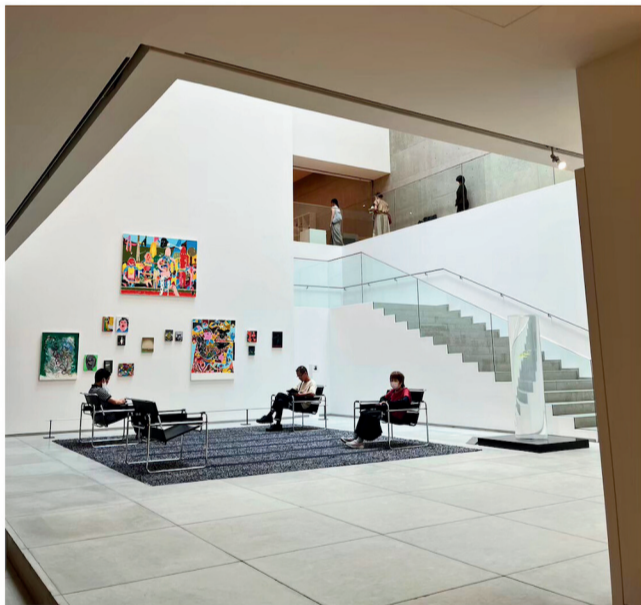
東山魁夷せとうち美術館。海を眺めつつ、くつろげる。



高松市美術館「上田薫展」橋学芸員の解説で、鑑賞が深まった。

◆旅の感想

- ・美術に関心がある方たちと一緒にいると、楽しく話せた。
- ・学芸員さんの説明があり、深く作品を鑑賞できた。
- ・自分では行けない美術館3館をまとめて行けた。
- ・バスの運転手さんもガイドさんも感じが良かった。美術館3館も、昼食も、バスから見える景色もすべてよかった。知らなかったことを知れた。次回も楽しみにしています。
- ・ワイフが、新聞か雑誌で知り、今回ツアーに参加するきっかけになった「中園孔 ソウルメイト」が印象に残っている。生き急ぐかのような作品の多さも驚きだが、色使い、雰囲気陰陽、手法の多彩さに、若さや多感さを感じつつ、精神の危うさも垣間見る気がして、おもしろかった。今回のツアーは、建築、作品展とも、大変楽しく、素敵な体験ができた。



丸亀市猪熊弦一郎現代美術館。広々とした空間で、ゆったり過ごす。



瀬戸大橋をバックに、記念撮影。夕日が美しかった。

*** 編集長のつぶやき ***

友の会40周年を記念して、1本でも多くのトピックを掲載したい！との思いから、紙面のデザインを一新しました。友の会の活動の様々なシーンを、紙面を通して楽しんでいただけますように。そして美術館で、リアルにお会いできますように！と願っています。

(塩本由紀子／友の会企画室)

姫路市立美術館 友の会 設立40周年記念 友の会HP、4月1日スタート！

おかげさまで、2023年4月に40周年を迎えた姫路市立美術館 友の会。ますますデジタル化が進む今という時代に合わせて、よりリアルな情報をお伝えしていくために、HPをオープンすることになりました。現在、絶賛準備中です。どうぞ、お楽しみにー！



左上：北村副会長
左下：友の会会員さん
右：吉中充代さん

【40周年記念コンテンツ】

＊北村喜八郎副会長／聞き書き

発足時から理事を務められており、友の会誕生にまつわるお話や青年画家だったころの思い出など楽しく話に花が咲きました。

＊元学芸員 吉中充代さん／聞き書き

新卒で開館準備室に。お世話になった作家さんや関わられた人のお名前、当時の出来事が次から次へ。玉手箱を開けたかのようなひとときでした。

＊会員さん／ミニトーク

かつての友の会はどんな活動をしていたのか、現在との違いについてなどをワイワイ話してくださいました。

＊友の会40年のあゆみ／年表

懐かしい展示会や友の会の様々な出来事の記憶がよみがえります！

2024年度 友の会 会員募集中！

ご一緒に、思い思いに、アートを楽しみませんか。様々な特典がありますので、展示会や各種講座などにお越しの際は会員証をご提示ください。

◎会員期間／2024年4月1日～2025年3月31日

◎年会費／普通会員...3,000円

高大学生...1,500円

小中学生...1,000円

※10月1日以降ご入会の場合は半額

◎主な特典／

- ①常設展、企画展の無料観覧（何度でもご覧いただけます）
- ②会員限定イベントのご案内
- ③図録の割引購入
- ④カフェでの飲食が2割引に
- ⑤姫路文学館、兵庫県立美術館、神戸市立博物館が団体割引料金になります。

姫路市立美術館 友の会ニュースレター

「ARTOMO CASUAL」第6号／2024年春号

発行日...2024年3月1日

発行者...姫路市立美術館友の会 企画室(姫路市立美術館内)

- ・編集／青田美智江、米谷啓和、米谷尚子、塩本由紀子、二階堂薫、西尾章子、山口玲子
- ・執筆／米谷啓和、小川陽平、青田美智江
- ・撮影／大西忠良、岡崎沙知子、米谷啓和、二階堂薫、西尾章子、八木章徳

Mail...artomo.online@gmail.com

最新情報...<https://m.facebook.com/artomo.online/>

＊ARTOMOとは？

姫路市立美術館 友の会・ARTOMO(あーとも)は、美術館を愛し、オープン&日常的にアートに親しむためのコミュニティ。この「ARTOMO CASUAL」では、友の会の様々な取り組みを(私たちも楽しみながら)友の会のみなさまにお届けします。

本紙の無断転載を禁じます。

All rights reserved. © TOMONOKAI, Himeji City Museum of Art, 2024 © The Artists and the Authors, 2024